

# 1 選手強化について

## 【R 6 冬季強化指定選手及びR 7 特別強化指定選手について】

○R 6 県新人陸上競技大会（9月26日、27日）の結果を基に、下記選考基準に照らし合わせて強化選手を選考し、定期的な練習会や合宿を実施する。

### 【R 6 冬季強化指定選手】

- S ランク…R 6 全国大会出場者・R 6 関東大会入賞者（共通種目）  
R 6 U 1 6 陸上競技大会入賞者（R 6 U 1 6 リレーも含む）
- A ランク…R 6 県新人大会3位以内の者・R 6 関東大会出場者（共通種目）  
R 6 関東大会入賞者（各学年種目）  
R 6 U 1 6 陸上競技大会申込資格到達者（R 6 U 1 6 リレーも含む）
- B ランク…R 6 県新人大会入賞者（8位入賞者）・R 6 関東大会出場者（各学年種目）
- C ランク…R 6 県新人大会ベスト16・コーチの推薦を受けた者

○第6回冬季強化練習会（3/1）で選考トライアルを実施し、関東・全国大会に向けて練習会を実施する。

### 【R 7 特別強化指定選手】

- ・選考トライアルにおいて、各種目の上位3名を特別強化指定選手に認定する。  
※四種競技の競技者が上位3名に該当した場合は、次点の選手を繰り上げて認定する。
- ・四種競技の競技者については、県新人大会の上位3名（※1）を特別強化指定選手に認定する。  
ただし、前述（※1）に該当せず、選考トライアル（3/1）において、四種競技のいずれかの種目で上位3名に入った場合は、四種競技の特別強化指定選手として認定する。
- ・特別強化指定選手の選考については、選考方法や選考人数等を変更する場合がある。その際は、茨城中体連陸上競技専門部HPに掲載する。

# 2 各種大会選考について

## ① 【関東大会】第52回関東中学校陸上競技大会（東京）

### 1. 県総体陸上の上位3名に出場権を与える。（四種競技も含む）

[トラック競技]

- ・県総体陸上の上位3名で決定する。
- ・過去の大会のベスト記録や予選での抜き出した記録（全国標準突破等）については考慮せず、あくまでも県総体陸上の結果を重視する。ただし、優劣がつかない際には、以下の方法で選考する。
- ・決勝の結果から記録の優劣がつかない際には、県総体陸上のセカンド記録で上位の者が出場資格を得る。さらに、セカンド記録でも優劣がつかない際には、R 6. 4. 1～R 6. 7. 10までの公認記録において陸上競技ランキングの上位者を選考する。なお、陸上競技ランキングに反映されていない記録については上記の期間内に強化部長（梶山）まで報告する。期日を過ぎた場合は選考の対象としない。

[フィールド競技]

- ・県総体陸上の上位3名で決定する。
- ・過去の大会のベスト記録や予選での抜き出した記録（全国標準記録突破等）については考慮せず、あくまでも県総体陸上の結果を重視する。
- ・決勝の結果から記録の優劣がつかない際には、選考試技（ジャンプオフ等）を行う場合がある。

[四種競技]

- ・県総体陸上の上位3名で決定する。
- ・過去の大会のベスト記録や予選での抜き出した記録（全国標準突破等）については考慮せず、あくまでも県総体陸上の結果を重視する。ただし、優劣がつかない際には、以下の方法で選考する。
- ・決勝の結果から記録の優劣がつかない際には、R 6. 4. 1～R 6. 7. 10までの四種競技の公認記録において陸上競技ランキングの上位者を選考する。なお、陸上競技ランキングに反映されていない記録については上記の期間内に強化部長（梶山）まで報告する。期日を過ぎた場合は選考の対象としない。
- ・四種競技以外の種目（単独種目）の選考対象にはならない。四種競技という競技として扱う。

2. リレーは、県総体陸上の上位3チームが出場資格を得る。
3. 県総体陸上は関東出場者を決定する大会となるが、通信陸上競技大会と併せて全国標準突破指定大会とする。
4. 選考は陸上競技専門部強化部が行い、委員長が決定する。

## ② 【全国大会】第51回全日本中学校陸上競技選手権大会（福井）

1. 「県中学混成大会」・「通信陸上競技大会」・「県総体陸上」を全国標準記録突破指定大会とする。
2. 個人種目
  - ・通信陸上競技大会及び県総体陸上において、全国標準記録を突破した者が出場資格を得る。
  - ・四種競技については、県中学混成大会・通信陸上競技大会・県総体陸上において、全国標準記録を突破した者が出場資格を得る。
3. リレー
  - ・県総体陸上において優勝した1チームが出場資格を得る。

### ③【U16リレー】みんなでつなごうリレーフェスティバル2024

1. 参加資格（U16陸上競技大会も同様）
  - ① 県内学校に在学する中学生、高校生であること
  - ② 令和6年度日本陸上競技連盟登録者かつ日本国籍を有する者  
(日本で生まれ育った外国籍を有する者を含む)
  - ③ 2009年1月1日から2012年4月1日の間に生まれた者
2. 選考については、以下の通りとする。(選考対象については上記①～③に該当する者)
  - ・ R6.4.1～R6.8.20までの公認競技会で行われた100mの公認記録において陸上競技ランキングの上位6位までの選手を代表選手として選考する。(高校生の記録も含む)
  - ・ 同記録者がいた場合、上記期間内の公認競技会で行われた100mの公認記録において陸上競技ランキングのセカンド記録でより上位の選手を代表選手とする。それ以降の同記録者についても同じく選考する。
  - ・ 陸上競技ランキングに反映されていない記録については上記の期間内に強化部長(梶山)まで報告する。期日を過ぎた場合は選考の対象としない。
3. 上位者に辞退があった際には、次点の者を選考する。

### ④【U16陸上競技大会】第18回U18/第55回U16陸上競技大会

1. 参加資格についてはU16リレーと同様
2. 男子5種目、女子5種目の選考は行わない。公認競技会にて申込み期限までに参加基準を満たし、各校(チーム)の計画のもと申し込みをすること
3. 都道府県代表枠については選考会(8/31)を実施する。

#### ※U16陸上競技大会茨城県代表選手選考会について

- (1) 選考会 U16陸上競技大会代表選手選考会 兼 第175回茨城県中学校陸上競技記録会
- (2) 期 日 令和6年8月31日(土)
- (3) 会 場 水戸信用金庫スタジアム
- (4) 選考種目 男子(6種目) ※都道府県代表枠6種目のみ選考会を実施する。  
150m 1000m 110m JH (0.991m/9.14m)  
三段跳 ジャベリックスロー(300g) 円盤投(1.5kg)  
女子(6種目) ※都道府県代表枠6種目のみ選考会を実施する。  
150m 1000m 110m YH (0.762m/8.50m)  
三段跳 ジャベリックスロー(300g) 円盤投(1.0kg)
- (5) 参加資格
  - ① 県内の中学校、高等学校に在学する生徒。又は、茨城陸上競技協会に団体登録された地域クラブ活動に所属する中学生、高校生。
  - ② 2009年1月1日から2012年4月1日の間に生まれた者。
  - ③ 2024年度日本陸上競技連盟登録者かつ日本国籍を有する者。  
(日本で生まれ育った外国籍を有する者を含む)
  - ④ 中学生については、令和6年度県通信陸上競技大会・県総体陸上のどちらかにエントリーしている者。
- (6) 参加制限
  - ① 1つの都道府県選考会にのみ出場することができる。
  - ② 選考会の部または中学校記録会の部のどちらかにしか出場することはできない。  
※高校生は、選考会の部のみ出場可とする。
  - ③ 1人1種目のみ。リレーは1団体1チーム(団体単独チーム)とする。
  - ④ 個人種目とリレーにおいて、異なる所属で出場することはできない。
  - ⑤ 安全面を考慮し、三段跳の出場においては女子8m、男子10mを超える者とする。
  - ⑥ 中学生の選考会への参加制限は、下表に定める資格条件を満たした者とする。なお、高校生については資格条件を設けない。

No.	選考会設定種目	資格条件
1	男・女 150m	R6通信陸上、R6県総体陸上 どちらかの大会にエントリーした者 <b>※どちらかの大会にエントリーしていれば、出場種目の制限はなし</b>
2	男・女 1000m	
3	男・女 ハードル	
4	男・女 三段跳	
5	男・女 円盤投	
6	男・女 ジャベリックスロー	記録や順位による制限は設けない

- (7) 選考方法 各種目において1位の者を茨城県代表選手として推薦する。
  - ① トラック競技において、2組以上になる場合には決勝を行う。
  - ② フィールド競技においては、全ての競技者に3回の試技を与えられる。試技3回終了次点の上位8名には、さらに3回の試技を与えられる。
- (8) その他
  - ① 荒天等により選考会が実施できなかった場合は、R6.4.1～R6.7.31までに実施された公認競技会において、実施できた種目の公認記録において陸上競技ランキングの1位を推薦する。なお、陸上競技ランキングに反映されていない記録については上記の期間内に強化部長(梶山)まで報告する。期日を過ぎた場合は選考の対象としない。
  - ② U16陸上競技大会への申込みにおいて、選考会を実施した都道府県代表枠の種目については強化部が申込みを行う。その他の種目の申込みについては各校(チーム)の責任のもと行うこと。